

第2章 地下水の水質測定結果

I 調査の概要

1 調査期間（測定期間）

平成26年4月～平成27年3月

2 調査井戸（測定井戸）

測定井戸は、表－8、9に示すとおり、概況調査は75井（うち、金沢市7井）、定期モニタリング調査（継続監視）は、揮発性有機塩素化合物に係る調査井戸が68井（うち、金沢市29井）、ヒ素に係る調査井戸が22井、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に係る調査井戸が2井、フッ素に係る調査井戸が6井、ホウ素に係る調査井戸が5井である。

新たに汚染を発見した井戸については、表－10に示すとおり、97井で汚染井戸周辺地区調査を行った。

3 調査項目（測定項目）

各調査における測定項目は次のとおりであり、地下水の水質汚濁に係る環境基準を参考資料(p.125)に示す。

(1) 概況調査

カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、フッ素、ホウ素、1,4-ジオキサン、水温、pH、電気伝導率

(2) 定期モニタリング調査（継続監視）

① 揮発性有機塩素化合物

ジクロロメタン、四塩化炭素、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、水温、pH、電気伝導率

② ヒ素

ヒ素、水温、pH、電気伝導率

③ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、水温、pH、電気伝導率

④ フッ素

フッ素、水温、pH、電気伝導率

⑤ ホウ素

ホウ素、水温、pH、電気伝導率

(3) 汚染井戸周辺地区調査

① ヒ素

ヒ素、水温、pH、電気伝導率

② 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、水温、pH、電気伝導率

4 調査頻度（測定頻度）

(1) 概況調査

1回／年

(2) 定期モニタリング調査（継続監視）

2回／年

(3) 汚染井戸周辺地区調査

新たに検出または環境基準超過が判明した場合に随時実施。

表－8 概況調査井戸本数

市町名	調査井戸本数	調査機関
金沢市	7	金沢市
七尾市	4	石川県
小松市	6	〃
輪島市	7	〃
珠洲市	2	〃
加賀市	8	〃
羽咋市	3	〃
かほく市	3	〃
白山市	7	〃
能美市	5	〃
野々市市	1	〃
津幡町	2	〃
内灘町	3	〃
志賀町	7	〃
宝達志水町	2	〃
中能登町	3	〃
穴水町	2	〃
能登町	3	〃
県合計	68	—
合計	75	—

表－9 定期モニタリング調査(継続監視)井戸本数

調査項目	市町名	調査井戸本数	調査機関
揮発性有機塩素化合物	金沢市	29	金沢市
	七尾市	1	石川県
	小松市	8	〃
	輪島市	3	〃
	加賀市	1	〃
	羽咋市	2	〃
	白山市	16	〃
	野々市市	4	〃
	津幡町	1	〃
	志賀町	2	〃
	宝達志水町	1	〃
	合計	68	—
ヒ素	小松市	5	石川県
	加賀市	1	〃
	輪島市	1	〃
	羽咋市	5	〃
	津幡町	1	〃
	内灘町	1	〃
	志賀町	1	〃
	穴水町	5	〃
	能登町	2	〃
	合計	22	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	小松市	2	石川県
	合計	2	—
フッ素	加賀市	6	石川県
	合計	6	—
ホウ素	小松市	5	石川県
	合計	5	—

表－10 汚染井戸周辺地区調査井戸本数

調査項目	市町名	調査井戸本数	調査機関
ヒ素	内灘町	91	石川県
	合計	91	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	小松市	6	石川県
	合計	6	—